

歯周病と糖尿病の関係を ご存知ですか

Q 歯周病と糖尿病は関係あるのでしょうか

歯周病や糖尿病はともに生活習慣病ですが、歯周病に罹患している人は糖尿病が悪化しやすい、糖尿病に罹患している人は歯周病になりやすいという関係が指摘されています。糖尿病の合併症として網膜症や腎症、神経症などがありますが、歯周病は糖尿病の6番目の合併症と言われるようになりました。

Q どうして糖尿病がある
と歯周病になりやすい
のでしょうか

糖尿病はインスリンが十分に働かないために血液中の糖分が増えてしまう病気ですが、その

ままにしておくと血管がダメージを受け免疫を担うマクロファージの働きが抑制されたり、傷の治りが遅くなったりします。

歯周病は歯と歯肉の境目にある隙間(歯周ポケット)に歯周病細菌が繁殖することで起こる慢性の炎症性疾患です。進行すると歯を支える骨を溶かし、歯が抜ける原因となります。糖尿病を放置していることで感染しやすい状態になると、歯周病菌にも感染しやすくなり、歯周病の進行も早くなると言われています。

Q どうして歯周病がある
と糖尿病は悪化しやすい
のですか

歯周病菌は毒素を放出します。毒素は歯肉から血管に入り、全身を巡ります。この毒素をマク

Q 自分が歯周病にかかっ
ているかわからないの
ですが

歯周病にかかるとお口の様々な症状が現れます。歯肉から出血する、歯の間に食べ物が挟まりやすい、口臭がある、朝起きた時に口の中がネバネバしている、歯が浮いた感じがするなどといった症状がある場合は歯周病にかかっている可能性がありますのでお近くの歯科医院にご相談ください。また、歯肉が腫れている、膿が出る、歯がグラグラ動くといった症状がある場合は歯周病が進行している可能性がありますので、なるべく早い受診をお勧めします。

Q 糖尿病の治療中である
ことは歯科医院で話し
た方が良いですか

どのようなご病気をお持ちであるか、どのような薬を飲んでいるかといったことは糖尿病に関わらず大切な情報ですので、歯科医院に受診された際には是非お伝えください。また歯周病を治療中の方は、かかりつけ医

ロファージは受け取り、体が攻撃されていると認識しTNF- α という炎症性サイトカインの一種を放出します。TNF- α は血糖値を下げる働きを持つインスリンの働きを阻害します。インスリンによって細胞は血液中のグルコースを取り込み血糖値が下がりますが、TNF- α がマクロファージから放出されるとインスリンに対する反応が鈍くなり、血糖値がうまく下がらなくなり、糖尿病が悪化しやすくなります。

つまり、糖尿病があると血管がもろくなる↓血液のめぐりが悪くなる↓体の抵抗力が弱くなる↓歯周病菌に感染しやすくなる↓歯周病になる↓歯周病菌が毒素を放出する↓毒素がTNF- α を誘発しインスリンの働きを妨げる↓インスリンの効き目が悪くなる↓糖尿病が悪化する、といった悪循環が起きます。

しかし、歯周病の治療を受けることで歯肉炎に起因するTNF- α の放出を抑え、糖尿病の指標であるHbA1cの値が改善することが報告されています。

歯周病?

糖尿病?

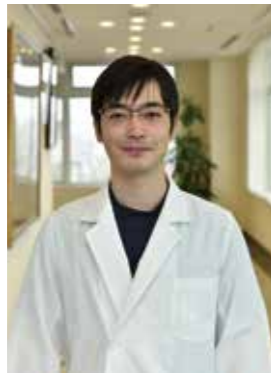


に受診する際に歯周病の治療中であることを伝えていただくことも重要です。

糖尿病の治療を受けている、もしくは歯周病の治療を受けている方は一度かかりつけ医、かかりつけ歯科医にご相談ください。

岐阜市民病院 歯科・口腔外科
中島教行 先生

- 専門分野
口腔外科
- 役職
歯科部医員
歯科口腔外科部医員
口腔ケアセンター医員
- 卒業年、主な職歴
平成23年大阪大学歯学部卒



今月の先生